

生駒市長 山下 真 殿

独自目標達成状況についての意見書

平成24年6月25日

エコチェック隊 楠下孝雄

遠藤はる奈

1. 達成状況の確認実施日時

平成24年6月25日（月） 14:00～15:30

2. 確認対象

生駒市役所

3. LAS-E 確認内容

独自目標の平成23年度実績

第1ステージ No12（エコアクション）,No23（エコマネジメント）,No30（エコガバナンス）

4. 確認結果（別紙のとおり）

No12 : ○ No23 : △ No30 : ○

5. 所見

LAS-E 独自目標の平成 23 年度実績の部門別評価として、エコアクション部門は○、エコマネジメント部門は△、エコガバナンス部門は○と判断いたしました。

昨年度監査でエコアクション部門は△の評価でしたが、今年度は二酸化炭素排出量（全体）と紙類使用量、ごみ排出量、水使用量のいずれも目標値を達成できたため、○と評価しました。

二酸化炭素排出量のうち、電気、重油、LPG は個別目標を達成できませんでした。重油と LPG については、市民サービスの拡充や施設周辺への配慮に伴う燃料使用量の増加と判断できます。電気については、本庁等で大幅な削減がなされた一方、清掃センターにおける使用量が増大しました。ごみ収集運搬の効率化とコスト削減のため、収集運搬ルートを変更したことに伴うものです。電気使用量は増えましたが、ごみ収集運搬にかかるコストが約 1 億円削減され所期の目的が達成されたほか、塵芥車燃料消費量の削減や交通渋滞の緩和などの効果も見られます。思い切った仕組みの変更でこうした成果を上げたことは、環境政策の進歩として高く評価したいと思えます。新たな体系の下でいかに削減努力をするかについて、今後の課題として検討し取り組んでください。

エコマネジメント部門では、環境に関する研修回数 4 回の目標に対して実績は 5 回と、職員の意識や知識のレベルアップに積極的である姿勢が伺えます。しかし、研修に臨む際の、あるいは研修後にその内容を活用する場面で、個々の職員の意識に濃淡が見られるのが現状です。

推進本部による点検回数については、環境マネジメントシステムの取り組みや夏季節電対策の検証は行われていたものの、ベースとなっている環境基本計画と協働した活動の点検評価が弱かったようです。環境基本計画と連携した課題の点検評価も推進本部の役割であるとの認識から、いつ何を議題とするのか、どのように取り組みを検証するのかが明確でなかったことが、目標達成に至らなかった背景にあります。環境基本計画には、行政以外の主体が行う事業や協働事業が数多く含まれます。こうした事業と連動した点検評価をどのように行うかも含め、仕組みの整備をしていただきたいと思います。

エコガバナンス部門では、環境情報の公開は年 18 回の目標に対して 23 回、市民と協働で行うイベントは 12 回の目標に対して 24 回と、いずれも大きく上回る取り組みがなされていました。イベント来場者の満足度も高く、協働の成果が上手く表れていると評価できます。ホームページや広報での情報公開は、市民に取り組みを呼びかけるものだけで 23 回を数えています。情報提供のみの記事も含めると、環境に関する記事の公開は相当な回数に上り、情報公開が充実しています。今後は、市ウェブサイトの活用を進めていただき、より詳しい情報にアクセスしやすいページ作りや、講座やイベントに参加したくなるような発信の仕方を工夫していただけると更に充実するものと思われます。

第 2 ステージに向けて、今後は環境基本計画の効果的な運用が中心課題になってきます。計画の進捗度をきちんと測ることができる指標のあり方も含めて、今一度、推進管理の仕組みを検討してください。各所属に対して環境基本計画の中身を十分に周知し理解を求めるのは簡単なことではありませんが、ここでも協働の力を活かせるのではないのでしょうか。生駒市らしい計画推進、点検評価の方法が早期に確立され、根付くことを期待します。

別紙 生駒市環境マネジメントシステム 平成23年度実績と評価

項目	平成23年度目標	平成23年度目標値		平成23年度実績値			目標の達成状況	確認結果
			削減目標		削減実数			
						二酸化炭素換算(t-CO ₂)		
二酸化炭素排出量の削減	市の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量の総量を平成22年度比で1.7%以上削減する。	-1.7%	278 t-CO ₂	-2.0%	326 t-CO ₂	326	○	○
電気	電気使用量を平成22年度比で1.8%以上削減する。	-1.8%	704千kWh	-1.1%	422千kWh	150	×	
ガソリン	ガソリン使用量を平成22年度比で2.5%以上削減する。	-2.5%	2,178l	-4.8%	4193 l	10	○	
軽油	軽油使用量を平成22年度比で2.5%以上削減する。	-2.5%	1,611l	-25.4%	16,363 l	42	○	
都市ガス	都市ガス使用量を平成22年度比で1.7%以上削減する。	-1.7%	4,232kg	-17.7%	43,973kg	141	○	
重油	重油使用量を平成22年度比で増加させない。	—	—	4.1%	▲11.6 千l	▲31	×	
灯油	灯油使用量を平成22年度比で増加させない。	—	—	-4.6%	6.4 千l	16	○	
LPG	LPG使用量を平成22年度比で1.7%以上削減する。	-1.7%	902kg	0.6%	▲331 kg	▲1	×	
紙類使用量	OA用紙の使用量を平成22年度比で増加させない。	—	—	-1.2%	678kg	—	○	○
ごみ排出量	ごみの排出量を平成22年度比で6.0%以上削減する。	-6.0%	1,810kg	-29.3%	8,843kg	—	○	
水使用量	水使用量を平成22年度比で1.6%以上削減する。	1.6%	5,627m ³	-5.0%	17,587m ³	—	○	
推進本部の点検評価回数	環境基本計画や環境マネジメントシステムの進捗状況を環境マネジメントシステム推進本部で年2回以上点検評価します。	2回以上	—	1回	—	—	×	△
環境施策研修の回数	環境マネジメントシステムやその他環境に関する研修を年4回以上実施します。	4回以上	—	5回	—	—	○	
情報公開に関する数値目標	環境情報を広報やホームページで年18回以上提供します。	18回以上	—	23回	—	—	○	○
環境施策への市民参加に関する数値目標	環境に関するイベントを市民と協働して年12回以上開催します。	12回以上	—	24回	—	—	○	